平成24（2012）年6月15日発行（毎月15日発行）通巻44号　発行所　㈱エルエルアイ出版　年間購読料１万2600円（税・送料込）

NEW HOUSING JOURNAL

新住宅ジャーナル

VOL44
7
JULY
2012

復興住宅にわく東北地方

岩手県宮古市Ａ企業　単板工場建屋

［復旧後］

岩手県宮古市Ａ企業　ロータリーベース

［復旧後］

宮城県石巻市
Ａ企業
事務棟

震災被害の合板工場 現在８割まで復旧

昨年３月11日の東日本大震災で被災した宮城県石巻市、岩手県宮古市の各工場の復旧が進んでいる。昨年秋にはまだ３割回復だったものが、この５月には８割台とほぼ被災前のレベルにまで回復している。写真は日合連の平成23年度事業報告書に掲載されたもので、業界関係者も回復の早さに安堵している。

東北復興合板の製造販売も

報告書によるとセイホクは昨年７月上旬に合板生産ラインを復旧、同月下旬に針葉樹構造用合板の出荷を再開。西北プライウッドは８月上旬に試運転、９月上旬に出荷を再開。石巻合板工業は８月中旬に生産ラインの試運転、９月上旬に出荷を再開。ホクヨープライウッドは７月に生産ラインを復旧し８月上旬に出荷を再開した。なお、セイホクでは工場復旧と合わせて復興合板の製造・販売に力を入れている。「東北復興合板」は東北地方の間伐材を使用した国産材１００％合板として７月にＪＡＳを取得。「宮城復興合板」津波で被災した宮城県の海岸線の松１００％の合板、又は宮城県の海岸線の松50％以上＋宮城県産杉の合板で復興資材として使用されている。

宮城県石巻市Ａ企業　工場全景

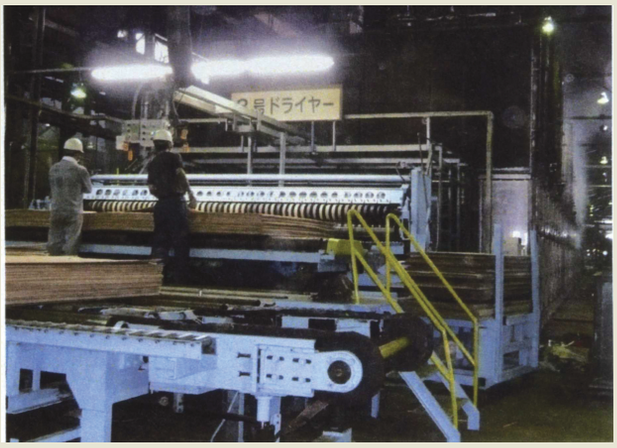
［復旧後］

［復旧後］

宮城県石巻市Ｂ企業　合板工場建屋

［復旧後］

宮城県石巻市Ｂ企業　ドライヤー



［復旧後］

【詳細は 新住宅ジャーナル 2012年7月号】